



News Letter

特集1

都市政策研究センター
開設記念シンポジウム

特集2

都市政策研究センター連続セミナー
都市問題の最前線を考える

No. 1
2019



都市政策研究センター@名市大、始動。

都市政策研究センター 開設記念シンポジウム

7月19日に、桜山キャンパス内で開設記念シンポジウムを開催しました。JR東海の柘植会長の基調講演ののち、企業・行政・大学の関係者が登壇してパネルディスカッションを行ない、東海地区の都市問題について議論を深めました。



基調講演

テーマ「リニアを契機とした地域の変革～その期待と課題～」

講演者：東海旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 柘植 康英

柘植会長は講演の中で、「リニア中央新幹線の開通により、東京・名古屋・大阪の移動時間が大幅に短縮されます。新たな日本の大動脈ができ、世界でも類を見ない活発な経済圏域となります」との見通しを示しました。また、「名古屋は新たな経済圏域の中央に位置し、立地としても恵まれた環境にあります」と指摘しました。

名古屋の街のこれからについては、「将来にわたり市民にとって住みやすく、災害に強い街をどのように作っていくかが課題となるでしょう」と述べ、生活面で街の魅力を向上させる必要性を説きました。



パネルディスカッション

パネリスト

- 小川 正樹 一般社団法人中部経済連合会 専務理事
- 水内 俊雄 大阪市立大学都市研究プラザ 教授
- 山本 正雄 名古屋市 総務局長
- 山本 明代 名古屋市立大学大学院人間文化研究科 教授
- 中山 徳良 名古屋市立大学大学院経済学研究科 教授

コーディネーター

伊藤 恭彦 名古屋市立大学 副学長

後半のパネルディスカッションでは、企業・行政・大学の関係者5名がパネリストとして登壇しました。各パネリストからは、地元経済の活性化、都市内格差への対応、多文化共生の推進などに関する報告がありました。こうした多様な都市問題の動向に対し、都市政策研究センターとして、今度にどのような役割を果たすべきかについても議論を深めました。



参加者の声

「シンポジウムは大盛況となり、当日は会場の熱気に圧倒されました。柘植会長のお話はとても興味深く、参考になりました」
(30代女性)

「名古屋市立大学の都市政策に対する強い思いを感じました。内容も名古屋市の強み弱み、今後の課題が浮き彫りになり、心に刻まれるものだったと感じています」(50代男性)

都市政策研究センター連続セミナー

都市問題の最前線を考える

第1回

経済学

高齢化社会の抱える問題点 - 財政からの視点



森田雄一 大学院経済学研究科 教授

高齢化社会がもたらす問題のひとつに、財政への影響があります。今回の講演では、給与所得者を対象とした、住民税の変動に関するお話が中心でした。高齢化が進むと長期的には税収が減るといわれますが、所得の高い年齢層が増加すれば短期的に税収が増える可能性もあり得る、という見解が示されました。

第2回

人間文化

情報法制の現在と 今後の展望



小林直三 大学院人間文化研究科 教授

近年の公文書管理の動向もあり、行政が保有する情報への注目は、かつてないほど高まっています。今回の講演は、現在の情報法制に照らして、行政としてどのような姿勢で向き合うべきかについての内容でした。情報法制はアメリカをはじめとする海外の方が進んでおり、日本も海外から学ぶべき点は多いといいます。

第3回

芸術工学

ユニバーサルデザインの これまでとこれから



大坪牧人 大学院芸術工学研究科 准教授

「ユニバーサルデザイン」という言葉が登場して30年以上が経ちました。ただ、日本では本来の意味とは異なり、「バリアフリー」と類似する言葉として理解され、結果として本来の意味からはやや離れて捉えられているきらいがあります。こうしたユニバーサルデザインは今後、人間中心のデザインへどう発展していくかが問われています。

都市政策を考える1冊

**自治体の“台所”事情
“財政が厳しい”って
どういうこと?**

今村 寛



「出張財政出前講座
with SIMふくおか2030」が
本になりました!

自治体の“台所”事情 “財政が厳しい”ってどういうこと? 今村 寛 /著、ぎょうせい、2018年

都市の持続可能性を考えるうえで、健全な財政運営は必要不可欠です。しかし、重要な政策に優先順位を付け、そこに重点的に予算配分を行なっていくのは、決して容易ではありません。こうしたなかで本書は、資源が限られている時代だからこそ、自治体財政についてしっかりと考える重要性を説いています。

本書では、「SIM2030」という自治体経営シミュレーションゲームのノウハウも詳しく紹介されています。この「SIM2030」は、自治体財政への関心を喚起するにはうってつけのゲームです。本書を通読し、SIM2030を体験すれば、きっと自分のまちの財政事情に関心が高まるでしょう。

2018年度の活動実績

○都市政策研究センターの開所式

2018年5月1日14:00～

@名古屋市立大学滝子キャンパス

○都市政策研究センター開設記念シンポジウム

2018年7月19日13:00～

@名古屋市立大学桜山キャンパス

○都市政策研究センター連続セミナー第1回

2018年12月18日18:30～

@名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

○都市政策研究センター連続セミナー第2回

2019年1月29日18:30～

@名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

○都市政策研究センター連続セミナー第3回

2019年2月21日18:30～

@名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

○市町村からの受託実績(一部抜粋)

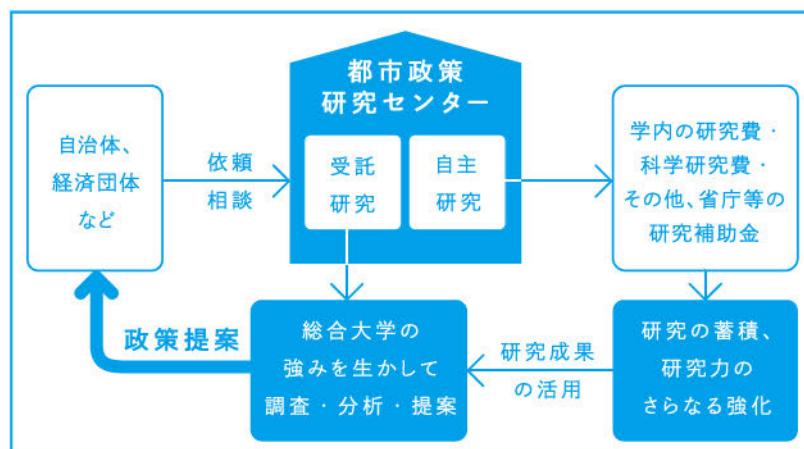
- ・名古屋市市民経済局地域振興部地域振興課
- ・名古屋市市民経済局産業部産業労働課
- ・名古屋市健康福祉局健康部健康増進課
- ・名古屋市子ども青少年局保育部保育企画室
- ・名古屋市選挙管理委員会事務局
- ・名古屋市上下水道局経営本部企画部経営企画課
- ・名古屋市上下水道局技術本部計画部水道計画課

名古屋市立大学 都市政策研究センター(CUPRE)

センターの紹介

当センターは全学的な共同研究体制のもと、名古屋大都市圏が抱える地域課題に対して、解決に寄与する調査・分析・提案を進めます。

「CUPRE」というのは、Center for Urban Policy Research and Educationの頭文字を並べたものです。



ロゴマークは、NCUとCUPREを組み合わせたデザインです。CUPREと読めるようにNを右側にし、NCUを一筆書きでまとめました。「N」は都市をイメージさせる、ビルをモチーフにしました。

お気軽にご相談ください

当センターのスタッフとして参加する教員は、講演会や研修会の豊富な講師経験があります。

また、学生を交えたまちづくりワークショップなども対応が可能です。

お問い合わせ

当センター事務局までお問い合わせください。

e-mail : cupre@sec.nagoya-cu.ac.jp

tel : 052-872-3527

こんなことやりました！



- ・地域コミュニティ活性化市町村会議の講師(愛知県)
- ・シティプロモーション講義の講師(知多市)
- ・総合計画職員研修の講師(津島市)
- ・なごや学生コラボ★フェスのファシリテーター(名古屋市)
- ・いちのみや☆未来カフェのファシリテーター(一宮市)
- ・たかはま未来カフェのファシリテーター(高浜市) 他多数